



1

1 約21畳のLDKに大黒柱など8寸角の檜の柱を複数配しました。重厚な構造ながら、梁を見せた高い天井によって開放的な雰囲気に。フラットに続く奥の和室は引き戸で閉じることができます 2 リビングの一角に妻のピアノコーナーを設置。アーチ状の下がり壁がやわらかな印象を生んでいます。和室の市松模様のオリジナル引き戸も、空間を美しく引き立てます 3 メーカーのシステムキッチンで檜の天板のカウンターで囲いました。ブラックチェリーの一枚板を用いた窓辺のカウンターは、子どもたちの勉強コーナーです



3



2



LDKの床には、強度に優れたカバ桜を使用。杉板張りの天井は大工が材を選別し、色ムラが出ないように丁寧に仕上げられています。壁はなめらかな手触りのドイツ漆喰にしました

工務店
の家

Case 2

8寸角の通し柱が映える インテリア

「安心・安全を求めていたから
構造には妥協しませんでした」

滋賀県 Mさんの家 家族構成/夫44歳 妻44歳 長男13歳 長女11歳 設計・施工/大喜工務店

骨太構造にこだわり抜いた
大工と家具職人の技が光る家

Mさん夫妻が重視したのは、安心して暮らせること。土地を購入し、信頼できる工務店を探す中、「構造には一切妥協しない」という大喜工務店の評判を耳にしました。

「構造はもちろん、家づくりに真剣に向き合う大喜さんは土地選びにも厳しく、購入した私たちの土地は日当たりが悪すぎるとダメ出し。後悔したくないので、大喜さんに相談しつつOKをいただいて買い替えたのが今の場所です」

敷地は南側に大きく開いていたため、その特長を生かしてLDKは1階にゆったりと配置。将来1階だけで暮らせるように、LDKの延長として使える和室を併設しました。大工と家具職人によって美しく仕上げられた空間で、ひと際目を引くのは、夫がこだわった極太の柱です。

「他社にはない長期自然乾燥の檜材に感動しました。そこで大黒柱を含む6本の通し柱に8寸角のものを使いました。インテリアとしてすごく映えるし、触り心地がいいんです」大黒柱の配置を微妙にずらし、生活動線に余裕を持たせたプランも夫妻のお気に入りです。また、住まい全体は断熱性にも優れ、年間を通して快適環境。「空気がきれいに感じ、心地よい日々を送っています」



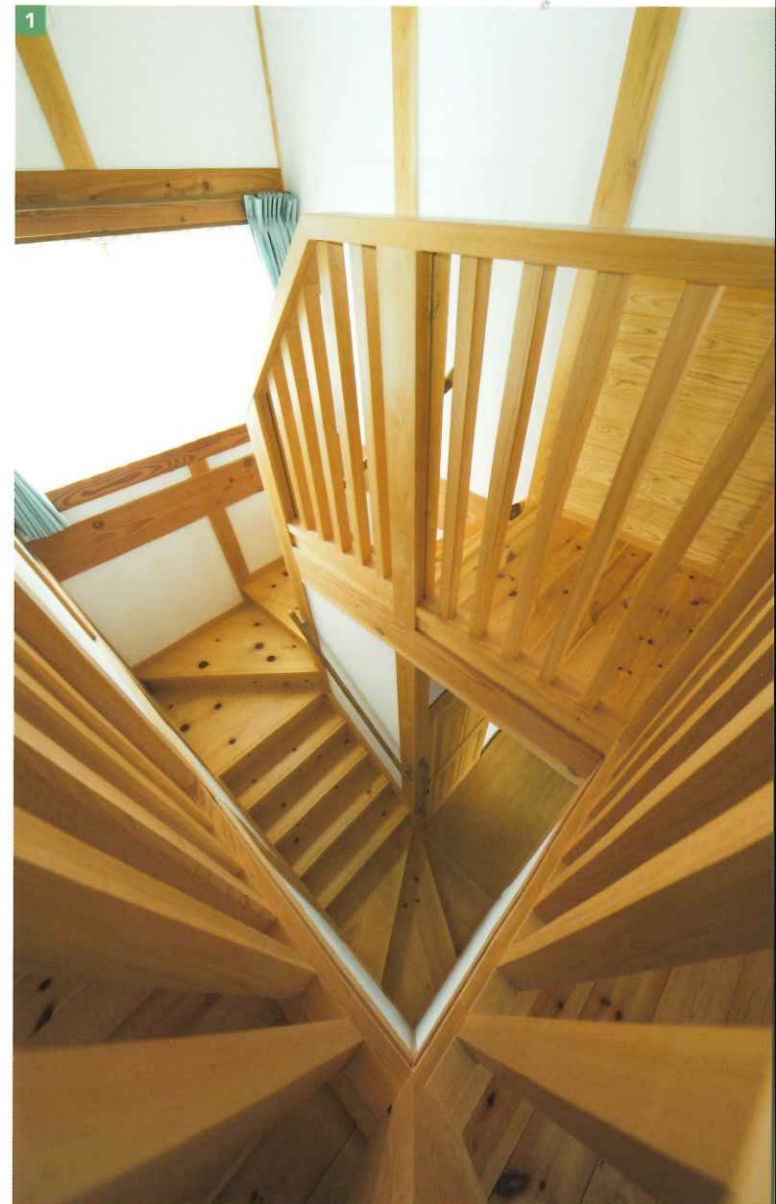
6 玄関に、家具調の下駄箱を造作しました。家族用の動線を兼ねた収納を併設させて、コートや小物類などをすっきり収められる工夫も施しています。ホールの床は檜を採用 7 「構造がしっかりしている安心な家だから」(夫)と、寝室の梁にハンモックを取り付けて、遊び心あふれる演出を施しています。奥には広めのウォークインクローゼットを設置



冬は日差しを取り入れ、夏は日差しを遮るように、軒の長さやバルコニーの出幅を考慮して設計しました。広い敷地を生かして車2台分の車庫を設置。一角には菜園スペースもつくりました



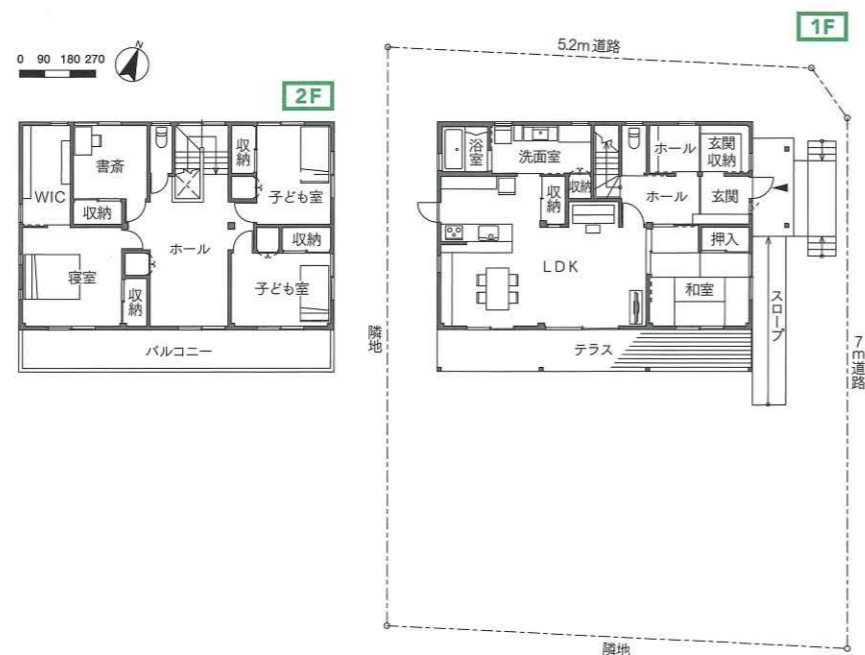
1階段は、熟練した大工の技による木組みを手ずりに用いて、美しく仕上げられています。1階側には節が少ない材を選び、玄関から見たときの印象に配慮しました。昇降がスムーズにできるように、幅1mのメーターモジュール設計にしています 2 2階のホールは、セカンドリビングなど多目的に使えるよう広めのスペースを確保しました。腰板を横張りにして、より広く見える工夫も施しています。「夏には、南北の窓を開けると気持ちのいい風が通ります」と妻 3 8寸角の檜を大黒柱として2本、通し柱も6本のうち4本に採用しました。檜は、良材の産地として名高い岐阜県東濃地方から仕入れ、長期自然乾燥して強度を高めて使用。「触り心地がよく、美しい見栄えが最高」と夫



DATA

敷地面積 / 338.50㎡ (102.58坪)
 延床面積 / 161.60㎡ (48.97坪)
 1階 / 80.80㎡ (24.48坪)
 2階 / 80.80㎡ (24.48坪)
 用途地域 / 市街化調整区域
 建ぺい率 / 70%
 容積率 / 200%
 構造 / 木造軸組工法
 竣工 / 2018年9月

設計・施工 / 大喜工務店
 〒527-0087
 滋賀県東近江市平田町764
 ☎ 0748・22・0028
<https://www.daiki-k.jp/>



4 夫が希望した書斎は「男のロマン部屋です(笑)」と大満足のスペース。クローゼットは、趣味の釣り具も収納しています 5 子供部屋には、ロフトに換気用の小窓をつくり、快適に過ごせるようにしました。2階はすべての床と天井にパイン材を採用